

本日のおはなし

- 総合防災センターについて
- 大規模災害時における
防災センターの役割について
- 意識の醸成について



堺市総合防災センターについて

地域防災力を高める拠点 令和4年4月1日開設



総合訓練棟
RC造 地下2階地上5階建

救助訓練棟
S造 地上6階建

屋外訓練場

災害活動支援棟
S造 地上2階建

水難救助訓練棟
RC造 地上3階建

防災啓発施設
RC造一部S造 地上2階建

施設利用状況

◆ 堺市総合防災センター来館者数

	合計	体験コースあり	体験コースなし	イベント等
R4	49,176 人	28,652	8,456	12,068
R5	57,868 人	35,259	10,473	12,136

◆ 目標値

R4から5年間
年間来館者数 **5** 万人維持



今後の検討内容

- 消防局管内在住者の来館数増加
- 自主防災組織等の来館数増加
- 魅力的なイベント企画

施設利用状況

◆ 堺市総合防災センター来館者数（9月30日時点）

	合計	体験コースあり	体験コースなし	イベント等
R5	24,349 人	16,302	4,949	3,098
R6	30,778 人	18,327	8,816	3,635

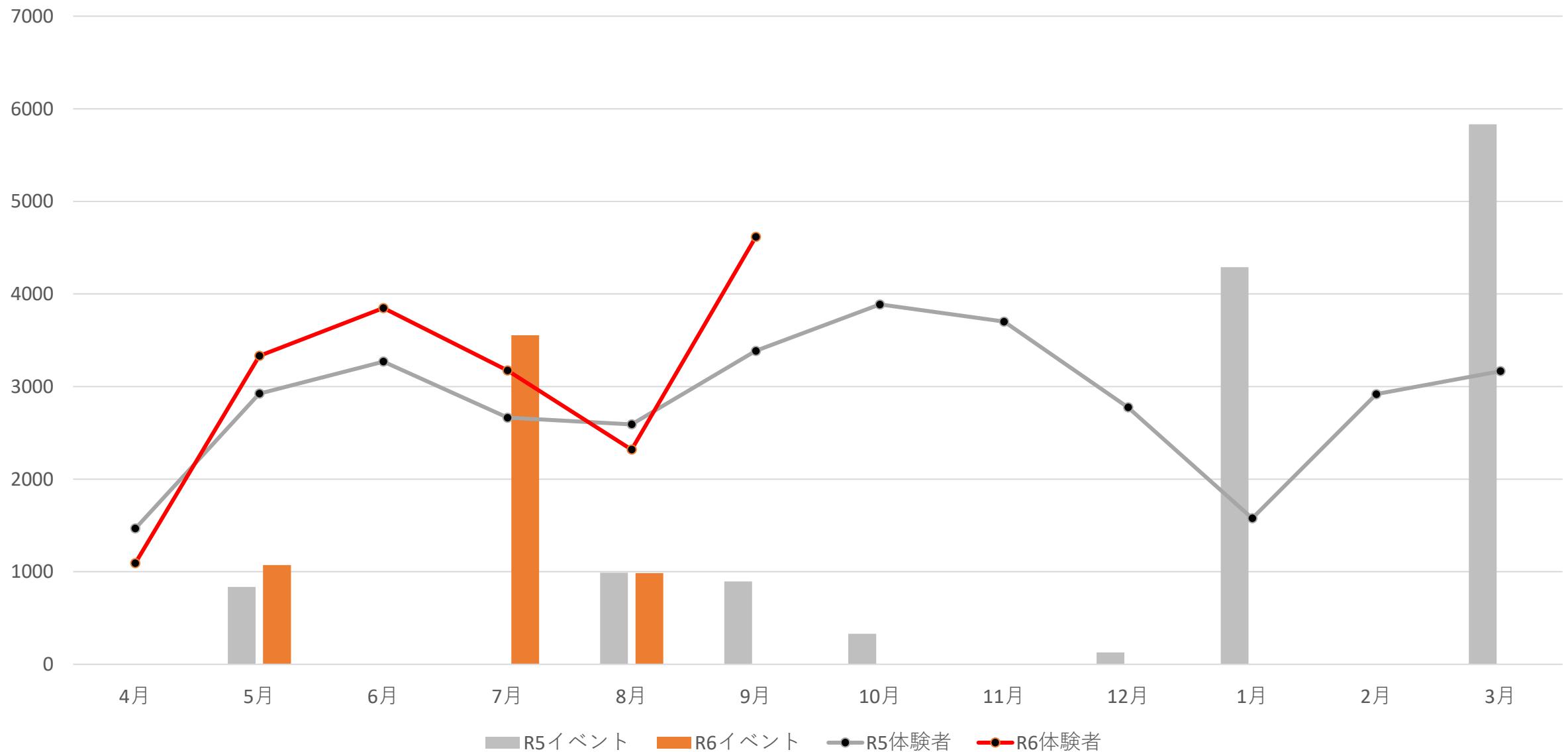
体験コース利用状況

消防局管内 団体別利用者数（体験コース利用あり）※R6.9.30時点

	合計	自主防災組織	自治会	小学校	中学校	高校 専門 大学	幼・保 こども 園など	福祉 施設	企業 事業所	行政 機関	消防関 連団体	その他	個人
R5	8,485	308 (4%)	119 (1%)	3,016 (36%)	203 (2%)	251 (3%)	418 (5%)	674 (8%)	424 (5%)	169 (2%)	77 (1%)	363 (4%)	2,463 (30%)
R6	9,289	121 (1%)	374 (4%)	3,369 (36%)	31 (1%)	103 (1%)	443 (5%)	856 (9%)	918 (10%)	484 (5%)	55 (1%)	4 (1%)	2,531 (27%)

来館者推移

来館者（体験コース利用者・イベント参加者）推移



実災害に近い状況下での学習 「真・体験」コース

災害時の判断力や観察力を身につける



地震体験



消火体験

真・体験コース

1 映像による災害学習



気づき

阪神・淡路大震災では、死者数の8割以上が倒壊した建物や家具による圧死でした。また、倒壊家屋から救助された方のほとんどは、家族や近隣住民によるものでした。映像を通じて、災害の怖さや、自助・共助の重要性に気づき、対策方法を学びます。

気づき

2

地震体験



地震に遭遇する映像を見ながら、震度7の地震の揺れを体験。地震対策をした場合と、していない場合の被害の差や、とっさの避難判断で変わる運命など、普段からの意識と備えの大切さを実感できます。

3 煙・暗闇避難体験

火災で発生した黒く濃い煙は一息吸っただけで意識を失うこともあります。避難では煙を吸わないようタオルやハンカチなどで口と鼻をふさぎます。暗闇では壁を伝いながら誘導灯をめざして進みます。



学び

実践

実践



4 消火体験

消火器での消火活動を実際の炎で行います。使い方は、①黄色のピンを抜く②ホースの先端を持って構える③レバーを握って放射の3ステップ。熱くない場所から炎ではなく、燃えているものを狙い、ほうきで掃くように消火するのがコツです。

4

実践

ここで得た気づき、学びをできることからお家でも実践してみよう!



総合訓練棟 ③④

防災啓発施設 ①②⑤⑥

学び



6 防災情報コーナー

災害と対策方法を本型の展示パネルで紹介。「ナゾトキシート」を解きながら、防災力を身につけます。津波の恐れのある区域は阪和線より東へ逃げれば安心など、堺ならではの防災対策が詰まっています。119番通報の体験もできます。

5 応急救護体験

一刻を争う救命には協力が大切!意識が無ければ「119番通報」「AEDの準備」「心肺蘇生」の役割分担を人形を使って体験します。



災害種別コース

水害コース



所要時間
75分

電話予約

【人数】最大40名
★中学生以上対象 ★雨天時中止

映像による災害学習

水圧ドア体験

水害救助体験



詳細はHPをご覧ください

火災コース



所要時間
75分

電話予約

【人数】最大40名

映像による災害学習

消防用設備体験

消火体験

煙・暗闇避難体験

救出救助コース



所要時間
75分

電話予約

【人数】最大40名
★中学生以上対象 ★雨天時中止

映像による災害学習

応急担架

圧迫止血

重量物除去

救出救助体験

避難所生活コース



所要時間
75分

電話予約

【人数】最大40名

映像による災害学習

マンホールトイレ

防災倉庫・備蓄倉庫見学

要支援者体験

その他コース・団体コース

その他コース

キッズコース

〈対象〉
未就学児



所要時間
55分

電話予約

ネット予約

【人数】最大40名
(同行の大人の数を含む)

未就学児向けに怖くない体験を集めたコースです。

地震体験

煙避難体験

防災アニメによる災害学習

防災工作

要支援者避難コース

〈オススメ〉
要支援者や
その介助者



所要時間
55分

電話予約

ネット予約

【人数】最大40名

災害時の悪路を再現した場所を、車椅子で通る体験をします。要支援者の補助の方法や共助の大切さを学びます。

悪路避難体験

煙・暗闇避難体験

地震体験

団体コース

一般団体コース

所要時間
120分

ネット予約

電話予約

【人数】61名～100名

【対象】一般団体、中学生以上の学校団体

※60名以下の団体は同じ内容で所要時間90分となります。

映像による災害学習

地震体験

煙・暗闇避難体験

消火体験

応急救護体験

防災情報コーナー

学校団体コース

所要時間
120分

ネット予約

電話予約

【人数】91名～150名

【対象】小学校団体

※90名以下の団体は同じ内容で所要時間90分となります。

映像による災害学習

地震体験

煙・暗闇避難体験

消火体験

訓練・車両見学

防災情報コーナー

キッズ団体コース

所要時間
65分

電話予約

【人数】最大105名

【対象】幼稚園、保育園、こども園

※消火体験は大人の方に体験してもらい、子どもたちはその様子を見学します。

防災アニメによる災害学習

地震体験

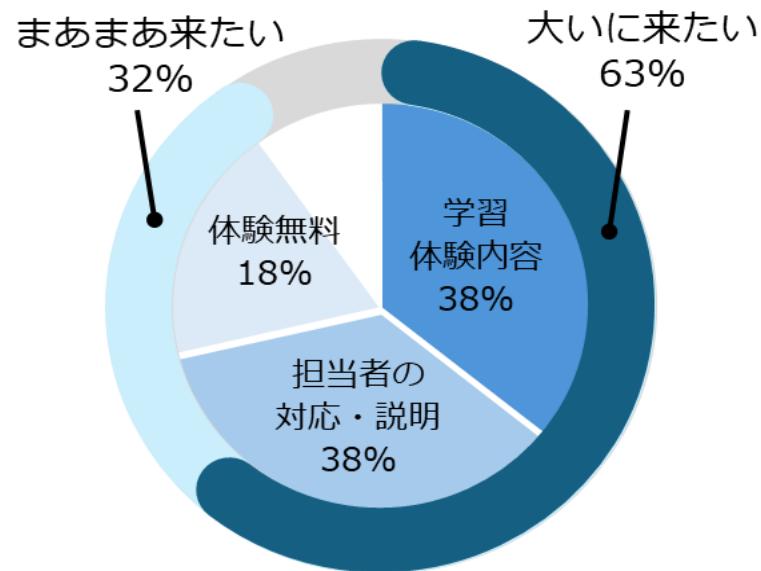
消火体験

煙避難体験

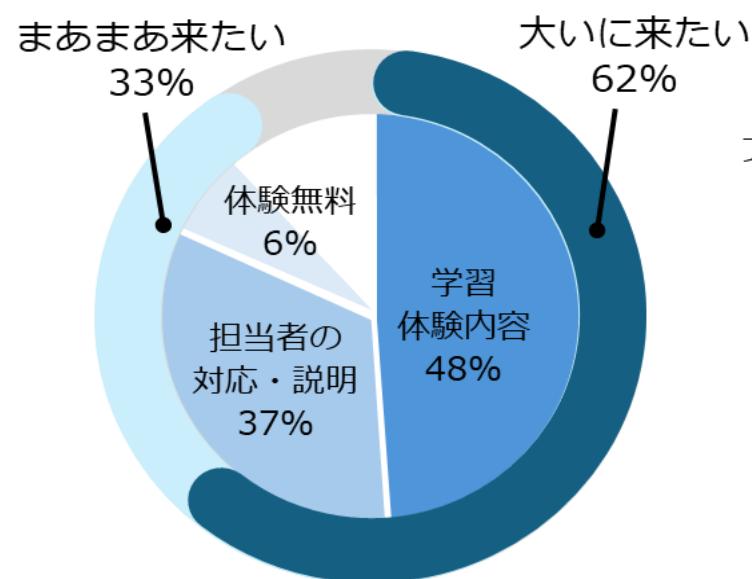
訓練・車両見学

利用者満足度

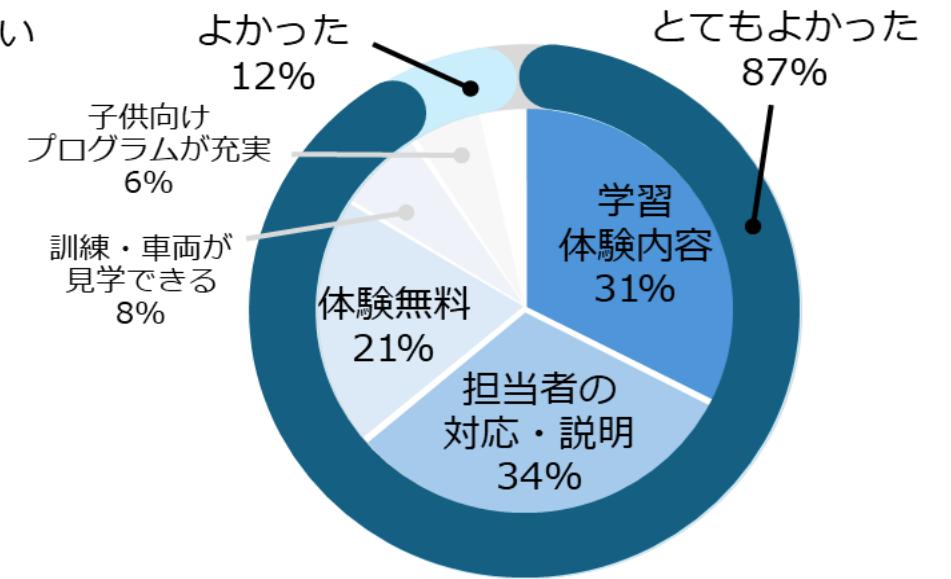
満足度 80 %以上



R4



R5



R6 (9.30時点)

地域の連携強化・地域防災を担う人材育成

消防・防災力の強化

円滑な受援体制の確立

【所在地】

堺市美原区阿弥129番地 4

【敷地面積】

約18,900m²

【施設概要】

防災啓発施設、総合訓練棟、救助訓練棟、
水難救助訓練棟、災害活動支援棟、屋外訓練場



堺市総合防災センター配置図

敷地面積：約18,900㎡

建築面積：約 4,300㎡

延床面積：約 7,800㎡

水難救助訓練棟

地上2階建

○消防活動における水難救助訓練を行う施設

【主な設備】

潜水プール(水深8m)、更衣室、採暖室

屋外プール(25m×3レーン)、指導員室



総合訓練棟

地上5階・地下2階建

○実火災訓練や煙中・熱気訓練、各種救助訓練など高度な消防訓練を行う訓練施設

【主な設備】

実火災訓練室、煙中熱気訓練室、燃焼実験室、低所救出訓練場、訓練用非常用エレベーター、竪穴救助訓練場、洞道訓練室、消防用設備体験室、鑑識室、煙暗闇訓練室



救助訓練棟

地上6階建

○ロープ渡りやはしご登はん等、基本的な救助技術訓練を行う施設



防災啓発施設

地上2階建

○体験型の防災学習施設

○ガイドスタッフが案内するツアー体験コースを実施

○子どもから大人まで楽しく学び、地震、風水害、火災等あらゆる災害に対ししっかり備えることが可能

【主な設備】

ガイダンスシアター、災害体験コーナー、ホワイエ、防災情報コーナー、救命学習ルーム、管理室、会議室、無線機室



屋外訓練場

○放水訓練、消防車運転技能訓練、消防団の操法訓練などの屋外訓練が可能

【主な設備】

雨水を循環利用する訓練用貯水槽、放水壁、移動式消火栓、震災救助訓練場、臨時離着陸場、運転技能訓練場



災害活動支援棟

地上2階建

○平常時は、常駐隊が勤務する施設で、備蓄倉庫には災害時の資機材や生活用品を保管

○災害時は、備蓄物資の配送拠点としての機能を有する

○大規模災害時は、緊急消防援助隊の車両集結場所、隊員の待機・宿泊場所となる

【主な設備】

備蓄倉庫、車庫、事務室、会議室、仮眠室、食堂







市町における物資拠点の状況

- 市町の物資拠点は主に体育館が選定されているが、ハンドフォークやパレットなどの機材がなく、搬出入に時間を要した。
- 被災自治体の職員だけでは配送手段の確保や物資拠点の管理が困難であったことから、石川県の広域物資輸送拠点と同様に自衛隊による支援の他、民間物流企業に業務委託を行い、管理及び配送を委託することで円滑に避難所まで支援物資が届けられた。
- 従来、県や市区町村が行ってきた広域物資輸送拠点から先の輸送についても、プッシュ型支援の一環として国が役割を担った。



人力で搬入する様子
(志賀町豊来小学校)



ハンドフォークを用いた物資の移動状況
(石川県産業展示館)



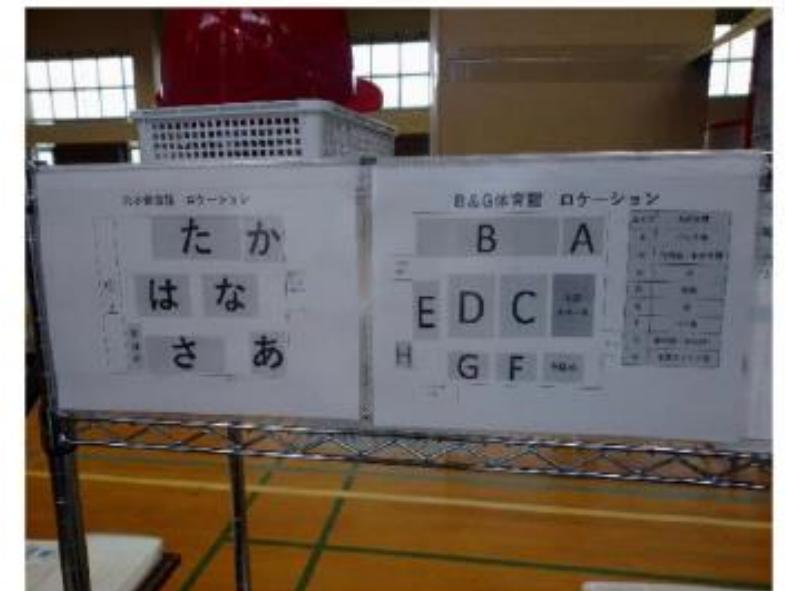
物資拠点の状況 (穴水町B&G海洋センター)



物資拠点の状況 (珠洲市健民体育館前)



民間物流企業による物資拠点における支援状況



民間物流企業による物資拠点における支援状況



NO ENTRY

一般の方は
入ることができません。

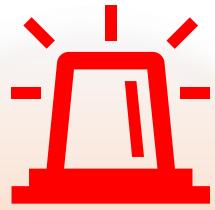
ここは、消防機関をはじめとする災害対応専用施設となります。
近隣の避難所などをご利用ください。

※ここから近い避難所は、堺市立黒山小学校と堺市立美原中学校です。



近隣指定避難所

黒山小学校 (美原区阿弥93)	美原中学校 (美原区小平尾390)
平尾小学校 (美原区平尾360)	美原西中学校 (美原区大饗102-2)
八上小学校 (美原区大饗117-1)	さつき田中学校 (美原区大饗117-1)
美原北小学校 (美原区大保19)	
美原西小学校 (美原区太井548)	美原体育館 (美原区多治井878-1)
さつき田小学校 (美原区さつき田東1-6-1)	みはら大地幼稚園 (美原区菅生587)



Attention

～ 東日本大震災 ～

2011年, 3月11日, 14:46 PM

(海溝型地震)



2009年1月1日時点で、
今後30年以内に起こる可能性のあつ
た地震発生地域の中で一番確率が
高かった宮城県沖（東日本大震災の
震源地）の地震発生確率

○%



南海トラフ地震

— その時の備え —

知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖に

南海トラフ大地震の発生確率

いつ



10年以内

○%

20年以内

○%

30年以内

○% ~ ○%

50年以内

○%

南海トラフ

南海トラフ巨大地震の
想定震源域

最大震度 **7**

想定される津波高
最大 **30m 超**

南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で
大きな被害が
見込まれる地域
[南海トラフ地震
防災対策推進地域]



指定基準の概要

震度6弱以上の地域
津波高3m以上

生・観光
安全な
旅する

地震は一度では終わらないかも
～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕



南海トラフ地震

— その時の備え —

知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。



南海トラフ
南海トラフ巨大地震の
想定震源域

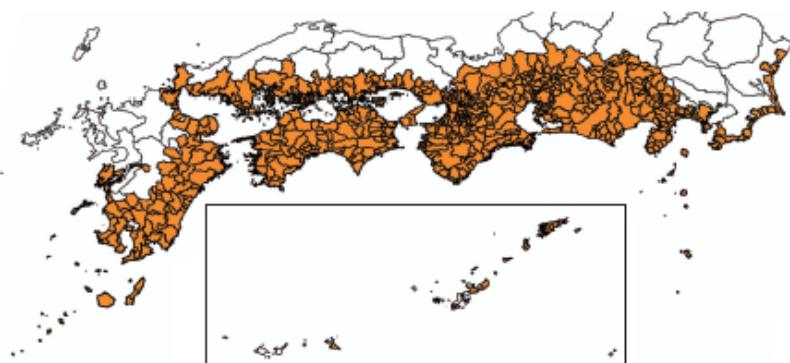
最大震度 **7**

想定される津波高
最大 **30m 超**

南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で
大きな被害が
見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域



指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

南海トラフ地震が発生したら・・・

突然の揺れ

地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

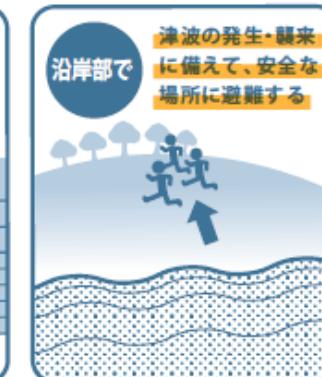
家庭で 頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる



屋外で ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる



沿岸部で 津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する



地震は一度では終わらないかも
～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕

